

あだたら

第436号
発行所 郡山市喜久田町
あだたら山の会
編集

三月二十三日(日)

三月 山行、箕輪山
報告 □□□□



登山口集合

【参加者】 □□会長、□□副会長、□□前会長、□□□□さん、□□□□さん、□□□□さんそして□□。非会員参加として、登山教室参加の□□さん、□□会長お知り合いの□□さん、□□さん、□□さん、□□前会長お知り合いの□□さん、計十二名。

集合。集合時間の三十分前に全員揃い意気込みが感じられます。三台で横山登山口まで移動。路肩の駐車場は積雪の為、教台駐車可能がやっとのスペースとなっていました。私たちが到着する前に二台駐車中。駐車は難しいと思いましたが帰宅することになりました。

●編集後記
二本松市郡内一五二五
0243(22)4245
FAX可・渡辺 正



「神々しい」直登。

待ち時間があつたので出発は少々遅くなりました。横山登山口八時五十分出発。積雪量が多く、スノーシューにするか、アイゼンにするか悩ましいところですが、皆様考えた結果、スキー一人、スノーシュー七人、アイゼン四人となりました。箕輪スキー場の左側(C線)の最下部よりスタート。スキー場のゲレンデなので最初から急斜面で息が整う前に心が挫けました。何度かスキーで滑ったコースでしたが、非常に長く感じられました。C線上部の斜度が緩くなった所(標高一三五〇m付近)より、スキー場の右側(A線)に向かいトラバースです。箕輪スキー場のカフエラ・ミルで小休憩。天気は霧で視界が悪いです。A線最上部(標高一四三〇m付近) 一時間四十分経過)に到着。天気が回復し展望がよくになりました。いよいよ待望の夏山では味わえない直登開始です。追い風に背中を押されながら黙々と登りました。木がない所を一直線で隊列を組みながら登る姿は神々しく感じられました。十一時二十分、一七二八m箕輪山山頂に到着(二時間三十分経過)。非常に風が強く寒いです。記念写真を撮り、早々に下山開始。目と口が変形するほど向かい風が強くなり足元もよく確認出来ません。慎重に下山しました。雪が緩んだ為かアイゼンで



11時20分、箕輪山頂、1728m

は足がズボズボと入り体力を消耗しました。穏やかで暖かい日が射し込む中、カフエラ・ミルで昼食(三時間三十分経過)。山頂を背景に記念写真を撮り横山登山口へ向かいました。登山口に到着した参加者全員の爽やかな顔が印象的でした。

ガイドして頂いた□□副会長。最後尾で、私たちを見守ってくれた□□会長、□□前会長のお陰で絶景を堪能出来、安全に下山出来ました。有難う御座いました。余談ですが、帰宅後は花粉症が目が真っ赤になりました。



「モンスター」の雪景色

2023年度認定団体 活動報告

2023年度に日本山岳連産地に認定された山域/団体から、今年度の活動報告をいただきました。

■福島県(安達太良山)【認定団体】あだたら山の会

助成金を活用して、整備に必要な備品などを購入して登山道整備を行っています。認定後は活動を知った方が入会したり、多方面の行政団体様とも情報共有をさせていただく機会が増え、整備方法についても新たな知見などもご紹介いただきました。また、一般の方にも登山教室を開催し、整備に参加して「登山道の今後について考えなくてはいけない」「楽しむだけでなく自分達登山者もなにか協力したい」など感想をいただきました。来年も各団体様と一緒に整備をする計画があり多くの方が安全に、安心して楽しめる安達太良山になるよう尽力いたします。



三月六日 (木)

〇〇〇〇さん、感謝状授賞を報告

報告 編集部



3月例会で感謝状授賞を報告する〇〇〇さん

十一月二十九日に倶山岳遭難対策協議会から感謝状を受章した、〇〇〇さんが、例会に感謝状を持参し、受賞報告を行った。

難対策としての登山道整備作業や冬山パトロールに積極的に参加している」ということ。皆さん、登山道整備作業、冬山パトロールには、積極的に参加しましょう。(会報四三二号に記載)

三月二十五日 (火)

「ほんとの空ツリズム」始動

報告 編集部

HP「アドベンタラ」が始まった。新聞記事による「安達太良山周辺の観光の魅力を一体的に発信、促進、提え！」云々。今年から、お客さんが増えるかも知れない。ロープウェイの薬師尾

三月三十一日 (月)

今年、雪が多いのっぺりした安達太良山

報告 〇〇〇



今年 2025-03-10 撮影 のっぺり

この季節、安達太良山は真っ白になる。ただ山頂付近は強風で大きな岩、稜線崖など雪が着かないところもあって、所々黒い物が見える。ところが今年はこの「のっぺり」になってしまったという。大先輩の〇〇〇さんが「一面に平で滑らか」に



2020-03-07 凸凹沢山、黒い色あちこち

なったというのだ。乳首の辺り、例年は「黒い物」が見えるが今年「真っ白」だと言う。早速出掛けて写真撮影してみた。確かに真っ白で「のっぺり」状態だ。今年、雪が多いという、沢山積もって、凸凹を埋めて隠してしまったのだ。勢至



会長撮影、3月16日、峰ノ辻の道標

平あたりでもくろがね小屋あたりでも峰ノ辻あたりでも、同じだと言う。会長がラインに公開した「峰ノ辻の道標」が頭まで雪に埋まっている写真、風も強いだろうし、雪など吹き飛ばされてしまうあそこでも、こんなになるんだ。ふと、気が付いた、こんな雪が多いの、今年だけの事なのか、これからずっとこうなるのか。どうなるのでしょうか。

編集後記 四三六号

◆今日は四月一日(火)昨日までは暖かくて、薄着で済んで居たが、今朝は雪が降っていた。道路には積もっていなかった、恐らく昨日までの暖かさで路面温まっていたためだろう。草むらには積雪していた。実は、四月一日は、二本松市成田の貴船神社の春のお祭り。大隣寺の南隣で、境内の大きな榎の木は遠くからも目立つ。私は毎年お参りしている。なぜかという、二本松藩の地誌「相生集」に以下の記載がある。「『巻ノ十一』神廟類、下成田。木(貴)船明神(略)一説には往古あたより岳鎮座船明神と號せしを後世こゝにうつすといへり未詳」

つまり元の鎮座地は安達太良連峰「船明神山」だったのだ。船明神山は安達太良連峰沼の平噴火口の火口壁の一部だ。その形は、船先は尖り、艫(とも)は丸く船尾そのままの形だ。船尾の下には「船明神池」もあって演出効果は満点だ。全国の貴船神社の「本社」とも言うべき、京都市左京区鞍馬貴船町の貴船神社には船の形をした石積みみの「船形石」があるが、此方は山そのものだ。

今日は雪ではなく、雨に変わったが、九時半過ぎに訪れた。境内(お社の中)には地元の方が沢山居られた。顔見知りの〇〇〇神主が居られたので、遠くから御挨拶。雨降っていたのでお札頂頂ただけで、下がって来た。貴船明神は、安達太良明神、剣明神(矢筈ヶ森)とで安達太良三所明神とも称される、最近お参りしていないので、今年はお参りしたいと思う。(〇)



「ほんとの空ツリズム」始動

二本松 安達太良山周辺情報発行

2025-03-26 福島民報紙面



HP「アドベンタラ」の開始ページ



貴船神社参道

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのです。が、手書きも歓迎、FAXも受信できます。